

Safety Data Sheet

Roxtec Assembly Gel EX, Assembly Gel White (JP)

Internal document ID and revision
ROXNAV-339576052-251 Rev. 1

Originally compiled
[First Publish Date]

Current version publish date
2022-12-27

Previous version publish date
[Previous Publish Date]

セクション 1 – 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名**
Roxtec Assembly Gel EX / Roxtec Assembly Gel white
- 1.2 推奨用途及び使用上の制限**
組立キットゴムとプラスチック向け潤滑剤
- 1.3 サプライヤ情報**
Roxtec International AB
Box 540, 371 23 Karlskrona, Sweden
電話: +46 455 36 67 00
Fax: +46 455 820 12
info@roxtec.com
www.roxtec.com
- 1.4 緊急連絡先 (受付時間)**
Roxtec International AB
電話: +46 455 36 67 00
営業時間: 08.00-16.00 (CET)
情報の制限: 情報は英語のみです。

セクション 2 – 危険有害性の要約

- 2.1 物質または混合物の分類**
この製品は、CLP 規則、EC 1272/2008、または化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 2015 年改訂 6 に従って危険物として分類されていません。

混合物は、REACH 規則、EC 1907/2006 第32条あるいは化学品の分類およびラベリングに関する世界調和システム (GHS) 2015 改訂 6 に準拠した安全データシート要件の対象ではありません。
- 2.2 ラベル要素**
該当なし本製品には、マーキングが必要な物質あるいは濃度レベルがありません。
- 2.3 他の危険有害性**
利用可能なデータに基づく本製品には、0.1%以上の PBT または vPvB 物質は含まれていません。 0.1%。

セクション 3 – 組成及び成分情報

3.1 物質

該当なし本製品は混合物です。3.2 を参照してください。

3.2 混合物

本製品には マーキングが必要、あるいは宣言が必要な物質または濃度レベルの同物質は含まれていません。

セクション 4 – 応急措置

4.1 必要な応急措置に関する説明

肌に触れた場合: 本製品を肌の上で乾燥させないでください。石鹸と水で洗浄してください。

眼に入った場合: 純粋でよくすすいでください。

吸い込んだ場合: 新鮮な空気を入れ替えてください。

汚れた衣服は脱いでください。

4.2 最重要な症状/作用、急性と遅発

肌に触れたり、眼に入ったりした場合、軽い発作を起こすおそれがあります。

4.3 即時医療措置および必要時は特殊治療が必要な場合の兆候

即時医療措置または特殊治療は不要です。必要な場合は対症療法。

セクション 5 – 火災時の措置

5.1 適切な消火剤

適切な消火器: 個別事例にあわせて、最適な消火設備を選択します。

不適切な消火剤: 特になし

5.2 火災時の措置に関する特有の危

本製品には引火性または可燃性はありません。

5.3 消防士に必要な特別保護措置

欧州規格 BS EN 469、手袋 (BS EN 659) と長靴 (HO 仕様 A29 および A30) または同等の要件に準拠した通常の消防士用保護服を着用してください。自給式開回路正圧型圧縮空気呼吸装置を使用します (BS EN 137)。

セクション 6 – 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

危険物がない場合は、漏れを封鎖します。肌、眼および着用衣服の汚れを防ぐため、セクション 8 を参照にして、身体保護装置を含む、適切な保護装置を装置します。

これらの表示は、処理担当職員および緊急対応手順を担当する者の両方に適用されます。

6.2 環境上の注意事項

製品の漏れ、土壌、草木、排水、下水システム、水面および地下水の汚染を防止します。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

滑る危険がありますので、その防止のため、漏洩物は速やかに除去します。

漏れた製品は適切な容器に回収します。セクション 10 を参照にして、使用する容器の妥当性を確認します。残渣は不活性吸収材で吸い取ります。
漏れた箇所はよく換気されているかを確認してください。汚れた材料は、セクション 13 に記載の条項にしたがって処分してください。

6.4 他のセクションの参照

保護設備および処分時の注意点については、セクション 8 および 13 を参照してください。

セクション 7 – 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全取扱い上の注意事項

本製品は取り扱う前に、本安全データシートの他のセクションすべてを参照してください。

滑る危険がありますので、その防止のため、漏れを防止します。

製品の漏れ、土壌、草木、排水、下水システム、水面および地下水の汚染を防止します。

本製品で汚れた衣服は、ズボンのポケットに入れて保管しないでください。汚れた衣服は脱いでください。

使用後は、手をよく洗浄してください。

本製品の使用中は、飲食または喫煙はしないでください。

汚れた衣服および保護設備は、食事する区域に移動する前に、脱いでください。

スポンジやブラシ、その他代替システムを使用してください。肌に触れることが避けられない場合: 肌に保護クリームを塗るか、アレルギー検査済みの「低化学耐用手袋」を着用してください。

7.2 配合禁忌を含む、安全保管の条件

本製品は、ラベルが明確表示された容器に入れて保管してください。

7.3 特定の最終用途

特に情報はありません。

セクション 8 – ばく露防止及び保護措置

8.1 制御パラメータ

特に情報はありません。

8.2 暴露管理

スポンジやブラシ、その他代替システムを使用してください。肌に触れることが避けられない場合: 肌に保護クリームを塗るか、アレルギー検査済みの「低化学耐用手袋」を着用してください。

飛散のリスクがある場合は、必要に応じて、安全眼鏡を着用してください。

環境暴露管理については、セクション 6、12 および 13 を参照してください。

セクション 9 – 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理および化学特性

a) 外観 (形状と色)	透明グリース、ペースト
b) 臭い 無臭	特性
c) 臭い 閾値	該当なし
d) PH	該当なし
e) 融点/氷点	該当なし

f) 初留点と沸騰領域	該当なし
g) 引火点	該当なし
h) 蒸発率	該当なし
i) 引火性	非引火性
J) 引火上限界/引火下限界または爆発限界	該当なし
k) 蒸気圧	該当なし
l) 蒸気密度	該当なし
m) 相対密度	~1 kg/dm ³ .
n) 溶解性	非水溶性
o) 分配係数: n-オクタノール/水	該当なし
p) 自然発火温度	該当なし
q) 分解温度	該当なし
r) 粘度	該当なし
s) 爆発特性	該当なし
t) 酸化特性	該当なし

9.2 その他の情報

情報がありません。

セクション 10 – 安定性及び反応性

10.1 反応性

通常の使用状態では危険な反応を引き起こす条件は確認されていません。

10.2 化学的安定性

本製品は、通常の使用および保管状態では安定しています。

10.3 危険有害反応可能性

通常の使用状態では危険な反応を引き起こす条件は確認されていません。

10.4 避けるべき条件

特になしただし、化学製品で使用する通常程度の注意事項は順守が必要です。

10.5 混触危険物質

特に情報はありません。

10.6 危険有害な分解生成物

特に情報はありません。

セクション 11 – 有害性情報

11.1 毒性作用に関する情報

a) 急性毒性

分類されていません。

b) 肌腐食/刺激

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

c) 重度の眼の損傷/眼への刺激

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

d) 呼吸器または肌感作

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

e) 生殖細胞変異原性

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

f) 発癌性

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

g) 生殖毒性

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

h) 特定標的臓器毒性 - 1回暴露

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

i) 特定標的臓器毒性 - 再現暴露

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

k) 吸引の危険

この危険クラスに関する分類基準は満たしていません。

可能性のある暴露経路に関する情報

肌に触れたり、眼に入ったりした場合、軽い発作を起こすおそれがあります。

物理、化学および毒性特製に関連する症状

情報は確認されていません。

遅発および即時作用、また短期、長期暴露による慢性作用

確認できる情報はありません。

毒性の数値測定（急性毒性推定など）

確認できる情報はありません。

相互作用

確認できる情報はありません。

セクション 12 – 環境影響情報

製品の漏れ、土壌、草木、排水、下水システム、水面および地下水の汚染を防止します。

12.1 毒性

特に情報はありません。

12.2 残留性・分解性

特に情報はありません。

12.3 生体内蓄積能

特に情報はありません。

12.4 土壌中の移動性

特に情報はありません。

12.5 PBT および vPvB 評価の結果

利用可能なデータをベースとした場合、本製品 PBT あるいは vPvB の割合では 0.1% 以上含有されていません。

12.6 その他の悪影響

特に情報はありません。

セクション 13 – 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

本製品は、有害廃棄物に分類されていません、可能な場合は再利用します。混合物および汚染パッケージの廃棄物処理として焼却が可能です。きれいなパッケージの廃棄物処理ではリサイクルが可能です。

国および地方自治体の廃棄物管理法制の順守が必要です。

下水処理します。

セクション 14 – 輸送上の注意

本製品は、国際海上危険物規則 (IMDG) および国際民間航空輸送協会 (IATA) 規則の危険物の陸路輸送 (ADR) および鉄路輸送 (RID) 規則の現行条項においては危険ではありません。

14.1 国連番号

危険物として分類されていません。

14.2 国連適正輸送名

該当なし

14.3 輸送危険分類

該当なし

14.4 梱包グループ

該当なし

14.5 環境上の危険物

該当なし

14.6 使用者のための特別な予防措置

該当なし

14.7 MARPOL 73/78 および IBC 規則付録 II に準拠した一括輸送

関連する情報はありませぬ。

セクション 15 – 適用法令

15.1 国際規格 モントリオール議定書（付属文書A、B、C、E）

非該当。

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

非該当。

事前通報承認制度（PIC）に関するロッテルダム条約 化学兵器禁止条約リストスケ
ジュールI、II、IIIの化学物質

非該当。

POPおよび重金属に関するUNECEオルフス（Aarhus）議定書

非該当。

セクション 16 – その他の情報

このバージョンは以下の更新安全データシートと入れ替えます。新しい
更新 SDS の変更理由: 新しい